

関西広域産業ビジョン アクションプランについて

令和 6 年 7 月 18 日
広域産業振興局

令和 6 年 3 月の広域連合議会 3 月定例会で承認を得た「関西広域産業ビジョン」について、本ビジョンで示した将来像の実現に向けた取組を具体化するものとして、2024 年度から 3 年間のアクションプランを作成しましたので、ご報告いたします。

【資料】

- ・ 関西広域産業ビジョン アクションプラン



関西広域連合
UNION OF KANSAI GOVERNMENTS

関西広域産業ビジョン アクションプラン

2024年7月

関西広域連合
広域産業振興局

Contents

01	アクションプランについて	2
02	ライフサイエンス	3
03	カーボンニュートラル	4
04	空飛ぶクルマ・MaaS	5
05	スタートアップ	6
06	中小企業の成長	7
07	多様な人材の活躍	8

アクションプランについて

2024年3月に改訂した「関西広域産業ビジョン」で示す将来像の実現に向け、2025年大阪・関西万博を契機に取組を加速化することから、万博開催年前後における関西広域連合の取組（アクション）をまとめました。

併せて、構成府県市や支援機関等での施策立案や連携強化につながるよう、構成府県市の取組についても掲載しています。

関西広域産業ビジョンとアクションプランの関係

めざす将来像からバックカスティング

アクションプラン

2025年大阪・関西万博の前後
(2024年度から3年間) で、

- ・ 広域連合が実施する取組
- ・ 関連する構成府県市の取組

【取組項目】

- ・ ライフサイエンス
- ・ カーボンニュートラル
- ・ 空飛ぶクルマ・ MaaS
- ・ スタートアップ
- ・ 中小企業の成長
- ・ 多様な人材の活躍

関西広域産業ビジョンにおいて、
2040年度で実現をめざす「将来像」

「世界の中で輝き、日本の未来を牽引する関西」
「産業を支える多様な人材が活躍する関西」

具体的なめざす姿

- 新産業の創出・確立
- 産業転換と深化
- 産業基盤の強化

関西チャレンジ

強みで貢献
強みを活用
強みを発揮

現在地

2025年
大阪・関西万博

万博後の
関西のありたい姿

再生医療分野をリードする研究機関、企業、大学等が集積し、そこから生まれる様々なシーズが事業化されるなど、関西の成長の柱として、再生医療の産業化が進展しています。



Action ありたい姿の実現に向けた取組

※ 「2025《万博開催》」、「2026～《万博後》」は、検討段階の取組を含む

年度	2024 《現状》	2025 《万博開催》	2026～ 《万博後》
テーマ	再生医療の産業化推進	再生医療の実用化がスタート	再生医療の普及と産業化の進展
関西広域連合	- バイオビジネスのパートナーングイベント「BioJapan」への参加（ブース出展、オンラインマッチング、セミナー） - 欧州ライフサイエンス企業等とのパートナーングカンファレンスの開催	- 関西パビリオンや万博関連イベント等での情報発信 - 国際見本市等での展示を通じて、域内ライフサイエンスクラスターや関西発の最新の研究・治療・創薬等の情報を発信	- 域内のリソース集積地（拠点）の特色、強みを集約し域内外に発信 - 国際見本市等での広域連合ブースの出展を通じて、域内企業の新技術や新製品を国内外でPR
構成府県市 (主な取組)	- 万博プレイベントでの万博出展技術の事前展示や体験会 - 府内の産業化拠点における、「交流・共創・発信」の推進 - 共同研究等に向けたプロジェクト実行可能性の調査・分析、資金調達等の支援 - 異業種交流（オープンイノベーション）による新事業創出 - プロジェクトの具体化に向け、産学官でのコンソーシアムを設置	- 万博会場内外での取組 - 大阪ヘルスケアパビリオンでの再生医療等に係る最先端技術の披露及び大阪・関西のポテンシャルの発信 - 万博会場外（健都万博等）での先端技術の展示 - 未来医療国際拠点「Nakanoshima Qross」における「my iPS細胞」の開発製造、供給開始 - 万博を契機に開催される医療機器分野の国際見本市「Japan Health」での情報発信	- 国内外の大学・研究機関と企業との協業やイノベーションの活性化 - 再生医療技術を核とした先端医療の普及と産業化モデルの確立 - 国内外の患者が、再生医療に容易にアクセスできる環境整備 - 産業化につながる研究・開発環境の充実 - 多様な人材の集積・育成・交流の促進 - 国際的ゲートウェイとして、関連企業等のインバウンド・アウトバウンドや協業等を促進

カーボンニュートラル

万博後の
関西のありたい姿



2050年までの達成をめざしている温室効果ガス（CO₂）排出量の実質ゼロに向けて、蓄電池や水素、CO₂回収、次世代型太陽電池などのカーボンニュートラルに資する最先端技術を実装しています。

Action ありたい姿の実現に向けた取組

※ 「2025<万博開催>」、「2026～<万博後>」は、検討段階の取組を含む

年度	2024 <現状>	2025 <万博開催>	2026～ <万博後>
テーマ	最先端技術の研究開発	最先端技術のフィールド実証及び活用	万博で活用した最先端技術の実装
関西広域連合	- カーボンニュートラル研究成果事業化促進フォーラムでの産学マッチング促進 - 関西圏の水素ポテンシャルマップ等による水素関連情報の発信	- 万博で披露される水素等最先端技術のセミナー等での発信 - 協調事業の拡充（構成府県市の関連施策について、域内事業者に対象拡大）	- 域内のリソース集積地（拠点）の特色、強みの発信 - 水素利活用に向けた構成府県市の取組の収集・発信
構成府県市 (主な取組)	- カーボンニュートラル技術開発・実証事業補助金等により技術開発実証を支援（例 ペロブスカイト太陽電池を活用したセンサーの開発） - 国内外の脱炭素関連スタートアップと企業等の交流イベントの開催 - 蓄電池等の脱炭素推進人材の育成 - 脱炭素関連技術を組み合わせた共創プロジェクトを創出するオープンイノベーション拠点の整備 - 水素関連製品の実用化に向けた、基盤・実用化技術の研究・開発、新製品の開発・試作等への補助	- 万博会場内外において、カーボンニュートラル技術を活用した製品等のデモ・体験の場を展開し、府域をショーケース化 - 関連プロジェクトの具体化を支援する企業、大学研究機関等で構成するコンソーシアムの設置 - 産学官連携による次世代蓄電池等の製品化に向けた性能向上 - 世界トップクラスのバイオ・電池等のテクノロジーの集積を生かした、脱炭素関連企業の共創の場の創設	- 最先端の脱炭素テクノロジーを用いた新事業創出・社会実装の推進 - 万博で活用・披露したカーボンニュートラル技術の地域実装・ビジネス化 - 次世代蓄電池の実用化と電池関連産業の集積を活かしたイノベーション促進 - 水素・アンモニア・e-メタン等のサプライチェーン構築に向けた取組 - 次世代の水素関連製品の製品化支援

万博後の
関西のありたい姿

万博を契機として、「空飛ぶクルマ」のビジネス化を実現します。将来的には、空飛ぶクルマを含めた交通手段やサービスに、自動運転やAIなどのさまざまなテクノロジーを掛け合わせた次世代の交通サービスである、「MaaS」(Mobility as a Service) が実現・拡大しています。



Action ありたい姿の実現に向けた取組

※ 「2025 ≪万博開催≫」、「2026～ ≪万博後≫」は、検討段階の取組を含む

年度	2024 ≪現状≫	2025 ≪万博開催≫	2026～ ≪万博後≫
テーマ	空飛ぶクルマのビジネス化に向けた実証、MaaS基盤整備	万博での空飛ぶクルマの2地点間運航、MaaS実証	空飛ぶクルマの運航の拡大、関西広域でのMaaS展開
関西広域連合	【空飛ぶクルマ】 ・ 構成府県市のリーディングケース（取組事例、支援制度等）の発信	【空飛ぶクルマ・MaaS】 ・ 協調事業（イベントでのVR体験等） ・ 構成府県市等で実施されたMaaS関連実証事業等の取組事例の収集・発信	【空飛ぶクルマ・MaaS】 ・ 空飛ぶクルマ・MaaS関連産業の関西発スタートアップ企業、産学官連携のコンソーシアム、最先端の研究成果など、ポテンシャルを域内外に発信
	【MaaS】 ・ ビジネス情報紙「from NOW ON KANSAI」で、域内の関連サービスを紹介	・ 離着陸場設置エリアのポテンシャルマップの作成	
構成府県市 (主な取組)	【空飛ぶクルマ】 ・ 事業者が行う実証実験等への支援 ・ 運航を支える拠点の整備構想策定支援・離着陸場等拠点整備支援 ・ 空飛ぶクルマ関連産業への参入促進 ・ 社会受容性の向上	【空飛ぶクルマ】 ・ 万博での2地点間運航を実現 ・ ビジネス化に向けて事業者が行う実証を支援 ・ 離着陸場設置エリアの拡大	【空飛ぶクルマ】 ・ 自動・自律飛行（パイロットレス）、オンデマンド運航へ段階的に移行 ・ 離着陸場をはじめとした関連ビジネスの拡大 ・ より高度な技術を用いた実証等を支援 ・ 関連産業の集積等、普及促進、利用拡大に向けた支援
	【MaaS】 ・ 自動運転の実証支援 ・ 万博会場へのシャトルバス発着駅等におけるキャッシュレス決済（QRコードや生体認証システム等）の設備導入補助	【MaaS】 ・ 万博来訪者に対してストレスフリーな移動サービスを提供 ・ モデル事例の他地域への横展開	【MaaS】 ・ 自動運転での移動サービスの普及拡大 ・ 交通、観光、宿泊など関連サービスの拡充 ・ 移動関連商品を開発する、MaaSオペレーターの設立

スタートアップ

万博後の
関西のありたい姿

国内外の様々なリソースの集積を可能とする日本有数の研究開発型スタートアップの地「ディープテックバレー“KANSAI”」をブランドとして確立し、関西全域のエコシステムとして発展しています。



Action ありたい姿の実現に向けた取組

※ 「2025 ≪万博開催≫」、「2026～ ≪万博後≫」は、検討段階の取組を含む

年度	2024 ≪現状≫	2025 ≪万博開催≫	2026～ ≪万博後≫
テーマ	スタートアップの創出・発信	スタートアップによるイノベーションの加速	関西がトップレベルのスタートアップ集積拠点に
関西広域連合	- 関西スタートアップ・エコシステム - 国内外有力スタートアップDBへの域内スタートアップの登録 - 国内カンファレンスやピッチイベント、ポータルサイト等での情報発信 - 情報発信戦略の取組の検証と提言	- 万博会場内外での取組 「Global Startup EXPO 2025」との連携 - 催事等での情報発信 - 次期情報発信戦略の策定 - チャレンジを支えるオール関西でのスタートアップコミュニティの形成	- 域内の多様な産業集積を活かしたビジネスエコシステムの構築 「Global Startup EXPO 2025」の後継イベントとの連携 - 次期情報発信戦略に基づいた取組により、ブランド認知度を向上
構成府県市 (主な取組)	- 研究開発型スタートアップの発掘・育成 - 地域起業家向けアクセラレーションプログラムの実施 - オープン・イノベーションの拠点整備 - ベンチャーキャピタルとスタートアップ企業とのマッチング促進 - 外国人起業家への支援 - 外国人起業家向け長期滞在型プログラムの実施 - 誘致からビザ取得、起業・定着まで一貫支援する窓口の設置	- 万博会場内外での取組 - 大阪ヘルスケアパビリオン等での、スタートアップの技術・サービスの実証 「Global Startup EXPO 2025」との連携 - 新事業創出に向けた、イノベーションの担い手の交流促進 - スタートアップ企業が起業・開発・生産していくために必要な資金調達支援 - 事業環境整備、研究開発、市場開拓など新ビジネス創出を強力に後押しするイノベーション・エコシステムの形成	- 更なるチャレンジを強力に後押しする関西の風土・文化・気質をベースに、ヒト、モノ、投資等を含めた環境整備 - 起業家マインド醸成、人材発掘 - 国内外ネットワーク構築 - プロジェクト創出、研究開発 - 市場開拓 等 - けいはんな学研都市やうめきた、大学や研究機関等のオープンイノベーション拠点において、人、シーズ、課題等のイノベーションの源泉が集結する中心地としての機能強化

中小企業の成長

万博後の
関西のありたい姿

時代の変化に応じた新たな需要を獲得できる産業が創出されるとともに、域内中小企業のDXにより、顧客価値を高めた製品・サービスが提供されるなど、競争上の優位性を確保しています。



Action ありたい姿の実現に向けた取組

※ 「2025《万博開催》」、「2026～《万博後》」は、検討段階の取組を含む

年度	2024 《現状》	2025 《万博開催》	2026～ 《万博後》
テーマ	中小企業の稼ぐ力の向上	万博を契機とした国内外企業とのビジネス創出	関西の強みを活かした新たなチャレンジの促進
関西広域連合	- 国内産業プロモーションの実施 - 産業視察先等を取りまとめたPRツールの作成・展開 - 中小企業向けセミナーの実施 - ビジネス情報紙「from NOW ON KANSAI」の発行 - 他分野事務局との連携事業	- 関西パビリオンや万博関連イベント等での情報発信 - 来日する海外政府機関等への域内産業視察の促進 - 協調事業の拡充（構成府県市で実施する事業者向けオンラインセミナーの対象を域内事業者に拡大する等）	- 先進事例や好取組事例の収集・発信 - 関西が誇るものづくり技術の発信やプロダクトのコアユーザーの増加に向けたプロモーション - イノベーション創出に向けた、域内工業系公設試験研究機関、大学、企業等との連携枠組みの強化
構成府県市 (主な取組)	- オープンイノベーションによる新事業創出および競争力強化に向けた取組支援 - 中小企業の新製品・技術開発の活発化に向けて、計画認定、補助金、フォローアップまで一貫した支援 - Beyond 5G 関連素材開発等の支援体制強化に向けた公設試の機能拡充 - デジタル技術やデータを活用した企業の生産性向上やビジネスモデルの転換 - 専門家によるDX推進支援 - eラーニングコンテンツの提供	- 万博を活用した海外バイヤー等とのビジネス交流の促進 - 中小企業の産学官連携、異分野との協業による新技術開発及び事業化 - チャレンジを後押しする制度・仕組みの構築 - 産学官が連携した伴走支援及び共同研究の実施 - 企業間連携によるビジネスの創出支援及び交流機会の創出 - セミナーの開催等を通じた、中小企業のサイバーセキュリティの基盤強化	- ものづくり企業の魅力や高い技術力を発信する機会の拡大 - 新製品・新サービスの販路開拓支援 - 海外現地企業とのネットワークを活用したビジネスマッチング - 先端デジタル技術の活用や、企業のポテンシャルを引き出すことによる地域全体の生産性・付加価値向上 - DX高度化支援（生産設備の自動制御や遠隔操作、高精度を可能にした製品開発等）

多様な人材の活躍

万博後の
関西のありたい姿



域内企業がダイバーシティ経営*を実践することにより、成長・新産業分野等で多様な人材が活躍しています。

*ダイバーシティ経営：多様な人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、価値創造につなげている経営

Action ありたい姿の実現に向けた取組

※ 「2025《万博開催》」、「2026～《万博後》」は、検討段階の取組を含む

年度	2024 《現状》	2025 《万博開催》	2026～ 《万博後》
テーマ	働き方を自由に選択できる環境の提供	人材の集積・掛け合わせによる新たな価値創出	関西人材エコシステムの進展
関西広域連合	・ ビジネス情報紙「from NOW ON KANSAI」の発行 ・ 構成府県市等との協調事業（人材、DXセミナー等）	・ 協調事業の拡充（構成府県市で実施する人材関連セミナーの対象拡大や、合同説明会への広域連合ブースの出展等）	・ ダイバーシティ経営を実践している企業の取組み（チャレンジ）の見える化・波及 ・ 在留資格「育成就労」制度の開始に向けた制度周知など、域内事業者の準備を促進
構成府県市 (主な取組)	・ 就業環境の整備 ▶ 女性、高齢者、障がい者の就業機会の確保・定着・再就労の支援 ▶ LGBTに関するリーディングカンパニー認証制度 ▶ 仕事と子育て・介護等の両立支援 ▶ テレワーク導入支援 ▶ リスキリング・スキルアップ支援 ・ 外国人材の受け入れ ▶ 外国人材と企業とのマッチング支援 ▶ 職場環境の整備への支援 ▶ 建設・製造・インバウンド関連を中心とした外国人材の受入促進	・ 支援拠点において、起業家や創業をめざす若者、学生、スタートアップ等の多様な人々の交流と協働を促進し、起業家精神の醸成及び新ビジネスモデルを創出 ・ 大学等と連携した研究開発型の企業誘致による若手・学生人材の新たな就業の場を創出 ・ 若手経営者候補人材と事業承継を検討する企業等とのマッチング支援 ・ 外国人材の活躍 ▶ 企業認証制度の創設 ▶ 職場体験・インターンシップ ▶ 外国人材の定着及び長期的な活躍に繋げるためのスキルアップや日本語学習支援	・ ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ▶ 女性、高齢者、障がい者、外国人等の多様な人材の就業促進 ・ 場所や形態にとらわれない、個性豊かな働き方の実現 ▶ リモートワーク、フレックス、時差出勤、ワーケーションなど自由な働き方が可能な環境づくり ▶ 副業人材の活躍促進、マッチング ▶ くらしと仕事の両立支援 ・ ものづくりやITなどの人材を求める県内企業と県内外の技術人材とのマッチング ・ 技能実習生制度から育成就労制度への円滑な移行に向けた企業支援